

穂 学

令和元年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 8]

令和元年10月14日(月)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「秋のたより」

校長 喜屋武 浩司

日本では最高気温が30度を超える日がほとんどなくなり、朝夕も20度前後の気温が続いているようです。そのような中でも、秋の台風が猛威を振るい、本州(特に関東地方)では家屋の損壊や長期にわたる停電に苦しい生活を余儀なくされています。被災地の皆様の日でも早い復旧を願っております。

そのような中、10月1日の中華人民共和国建国70周年の式典やパレードの様子を、中国人はもとより、中国に住む多くの日本人がテレビでご覧になったことと思います。もちろん、「中国三千年の歴史」(黄河文明から数えると七千年ちかくなるようです)などと呼ばれるくらい中国の歴史は長いものですが、1949年に北京(天安門)で毛沢東を首席とし周恩来(しゅうおんらい)を首相として中華人民共和国が建国されてから、今年でちょうど70年を迎えたこととなります。広州でも、あちらこちらで建国70周年を祝う飾り付けがされ、市民はその前で写真を撮り祝福する様子が多く見られました。夜には祝賀花火を楽しもうと、多くの人が花城広場(付近)に集まったようです。私たちの住む中国がこれからも平和であるとともに、日中の友好関係がさらに深まることを期待してやみません。

さて、日本では今年(2019年)の10月22日(火)はこの一年限りの祝日ですが、何の日かご存じでしょうか。

10月22日は「即位礼正殿の儀」(そくいれいせいでのぎ)という儀式があるので祝日となります。残念ながら、広州日本人学校は中国のカレンダー(祝日)に合わせていますのでお休みではありません。

ところで、「即位礼正殿の儀」というのは一体どのような儀式なのか知っていますか。普段の日常生活では全く馴染みのない言葉でもありますが、単語としてもなにか難しい字が多く、見ただけではいったいどんな儀式なのか分かりませんね。

今年の5月1日に「即位の礼」が行われ新しい天皇が誕生されました。年号も「平成」から「令和」となり、新しい日本の幕開けを感じた大変貴重な日でした。「即位礼正殿の儀」は日本国の内外に即位を宣明する儀式で、諸外国における戴冠式、即位式にあたり、皇居宮殿・正殿松の間で行われます。一言で説明すると、「新しい天皇陛下が、天皇になったことを世の中に宣言しお祝いする日」となります。結婚式でいうと、5月1日は挙式、10月22日は披露宴といったところですね。天皇陛下は、国民の象徴であり、私たち日本人にとってはとても尊くて大切な存在です。ぜひ、ご家庭でも夜のニュースなどをお子様と一緒にご覧になりながら、家族団らんのひとときをお過ごしいただければと思います。



< 皇居宮殿・松の間 >

